

平成26年度事業計画

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

1. 騒音及び振動に関する学術・技術の発展と普及・啓発を図り、もって国民の生活環境の保全と質の向上に寄与する事業(公益目的事業)

(1) 調査・研究を行う事業

ア) 研究部会、分科会を開催し、その活動を通じて調査研究を進める。得られた成果は報告会等を通じて会員等に周知する。さらに関連する学協会、研究会との交流及び情報交換、ホームページの充実、整備を行い、学会活動と会勢の拡大並びに広く学術・技術の発展と普及・啓発を図る。

イ) 騒音・振動関係の日本工業規格(JIS)の見直し・原案作成および国際規格(ISO、IEC)の審議に協力する。

ウ) 受託調査研究業務については、騒音・振動制御に関係する当学会として相応しい業務を受託し、騒音・振動技術の発展に努める。

(2) 研究発表会や講習会等を行う事業

ア) 平成26(2014)年春季研究発表会の開催

平成26年4月23日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて春季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

《セッション》

① 実衝撃音による床衝撃音をめぐる現状と課題(床衝撃音分科会)

② 騒音行政の現状と課題(環境騒音振動行政分科会)

③ 道路交通振動の現状と対策検討ツールとしての予測式の進展(道路交通振動予測式作成分科会)

④ 社会音響調査データアーカイブの課題と新たな展開(社会調査データアーカイブ分科会)

イ) 平成26(2014)年秋季研究発表会の開催

平成26年9月17～18日に明治大学中野キャンパスにおいて秋季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

ウ) 技術講習会等の開催

技術講習会を5回程度開催し、騒音・振動の計測技術ならびに対策技術の普及・向上に努め、展示会や講演会、見学会等を通じて騒音・振動に関する最新技術の普及に貢献する。また、当該分野の将来の裾野を広げ、活性化させる取り組みとして、児童等を対象に出張講座や体験学習等を企画・実施する。

(3) 会誌や学術書等の刊行を行う事業

ア) 「騒音制御」38巻2号～39巻1号の6冊を隔月に発行し、会員に配布する。その中で、社会のニーズに応じた特集記事を企画し誌面の充実を図るととも

に、学会ホームページにカラー図表を掲載する等のサービスも積極的に行う。また、学術論文等の投稿の促進と執筆者への便宜、編集の効率化ならびに騒音・振動制御に係る広告等の拡充について検討するとともに、「騒音制御」の電子ファイル化の準備を進め、研究成果や技術情報の発信の充実を図る。

イ) 騒音・振動に係る解説書等の出版に向けて編集作業を継続して進めるとともに、学会としての出版活動の一層の充実を図る。

(4) 国内外の学協会等と交流する事業

ア) オーストラリア・メルボルンで開催されるINTER-NOISE 2014について協力する。

イ) I-INCE加盟団体としてその活動に協力するとともに、ICA、WESPAC、INCE/USA等と情報交換を行う。また、ICBEN2014(奈良)開催にむけた支援活動を行う。

ウ) 騒音・振動に係る国内外の学協会等と交流することで、本学会の認知度を高めかつ会勢拡大を図り、もって当該分野の将来の裾野を広げる。

(5) 業績表彰に関する事業

学会の選奨制度を効果的に運用し、会員による騒音・振動技術の推進と普及を促し、社会への貢献を図るために、守田栄論文賞、研究功績賞、環境デザイン賞、研究奨励賞の贈呈を行う。

2. 騒音及び振動に関する認定技士の資格認定を行う事業(その他の事業(相互扶助等事業))

公益社団法人日本騒音制御工学会認定技士の資格認定を行うとともに、活動の強化を図る。